

## MyCityForecast 全国版公開とワークショップ実施地域募集のお知らせ

平成 28 年 10 月 4 日

国立大学法人東京大学

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会 (AIGID)

### ■全国版公開のお知らせ

近年、少子高齢化、インフラ老朽化等、様々な地域の課題が叫ばれる中で、地方創生やコンパクトシティ等の政策が提案されつつあるものの、地域の将来像をどのように市民と行政が共有していくかについて、なかなか積極的な議論は進んでいないところです。そこで、東京大学生産技術研究所関本研究室 (<http://sekilab.iis.u-tokyo.ac.jp>) では様々なオープンデータを組合せて都市の将来像可視化を共有する市民協働型都市計画コミュニケーションツール”MyCityForecast” (<http://mycityforecast.net>) を開発してきました。その後、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会主催のアーバンデータチャレンジ 2014 アプリケーション部門銀賞[1]、水戸市長賞[2]等を経て、このたび全国版の無償公開を開始しましたので、お知らせいたします (一部データ処理中の地域を含め、概ね 10 月中下旬までに全国の自治体のデータが入る予定です)。

また、市民説明会やワークショップの場などで活用できるよう、都市の公共施設の立地等をまとめた独自の都市計画情報を入力すると数十秒程度でアクセシビリティ等を再計算するオンデマンド型カスタマイズ機能なども、11 月上旬にリリース予定 (一部有償機能付き) ですので、追って御連絡します。

※詳細な説明は参考資料 1 を参照下さい。

### ■ワークショップ実施自治体の募集

今回、都市計画・まちづくりに興味をお持ちで、2016 年度に MyCityForecast を用いたワークショップを開催する地域の関係者を募集しています。応募地域は 2016 年度内は MyCityForecast の有償機能部分も無償で利用でき、また必要に応じて講師派遣等、開催支援も行いますので、是非、積極的に申込み頂ければと思います。なお、代表者は必ずしも自治体である必要はありませんが、主たる参加者に自治体関係のかたが含まれる必要があります。

### ■応募方法

・応募期間：10 月 4 日～10 月 31 日

・5 地域程度

※原則は先着順で、応募者多数の場合は締切日前に締め切る事があります。

・連絡先：関本准教授 ([sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:sekimoto@iis.u-tokyo.ac.jp))

### ■補足

[1] <http://www.mdn.co.jp/di/newsttopics/40176/>

[2] <http://www.city.mito.lg.jp/000271/000273/000280/000321/p016197.html>

参考資料 1：MyCityForecast 詳細

以上